

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	IN-EAST		
報告書提出日	2019年10月23日		
留学予定期間	2019年10月～2020年2月		

### 1. 渡航について

#### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 900 (ユーロ) /合計

航空券代： 20000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 100 (ユーロ) /合計

その他 ( ): ( ) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 770 (円) /合計

6月半ばに受け入れ許可証が届いた。同時に寮の案内も届いた。

7月上旬に航空券を予約。ドイツは現地に行ってビザを取得するので、日本でビザの申請などは行わなかった。また、Online上で大学の学生登録などを行った。

ヨーロッパは歯の治療費が高いと聞いていたので、8月に歯の治療をした。8月中旬に寮から正式に入寮の契約書など届いた。

#### 1.2. 渡航について

10/4にANAで成田空港からデュッセルドルフ空港まで行った。

現地では、デュースブルク・エッセン大学のバディがデュッセルドルフ空港まで迎えに来てくれた。

移動はバディが車で寮まで連れてきてくれた。

### 2. 到着後の手続きについて

#### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

##### 手続き方法

入寮の際にまず、600ユーロをデポジットとして払った。また、355ユーロを10月分の家賃として払った。今後の支払いは、毎月4日に家賃の引き落としがある。支払方法は現金のみ。

当日の鍵の受け取り方法は、日本で既に私の部屋の鍵をバディに委任するという旨の委任状にサインし、送ったので、10/4の朝、バディが私の部屋の鍵を管理人から預かり、私に渡してくれた。

気づき

部屋は二人部屋でルームメイトとキッチン、バスルームをシェアする。入寮した日～5日目までルームメイトが帰ってこなかったため、キッチンの冷蔵庫は私のものを入れるスペースが無かった。また冷蔵庫には生野菜、生肉も入っているので、異臭がした。バスルームとキッチンの流しの排水溝は詰まっており、バスルームは水浸しになった。

## 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

入寮した日は金曜日だったので、その次の週の10/7月曜日にドイツで加入する健康保険の免除の申請をした。（既に日本で海外の保険に加入しているため。）

10/8火曜日にビザを取得する予定だった。しかし、外国人局にビザ申請に行ったら、奨学金の証明書だけでは半年のビザを発給できないと言われたので、親に連絡し、英文の残高証明書（金額はユーロ換算されているもの）を作成し、送ってもらった。不足した書類は後日外国人局へ伺って、提出した。

## 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

10/7 学生登録：学生証、公共交通機関無料パス、大学の書類をもらった。

10/7 IOS プレイスメントテスト：ドイツ語のテストで結果は即日発表

10/7-10 履修登録機関：ドイツ語の授業は週2コマ、英語の授業は週3コマ取る。

10/14 Welcome Party：IN-EAST 全体の歓迎会で、パディなど様々な人が来た。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

英語とドイツ語の語学力を上げる。具体的には、英語は、帰国までに、TOEIC850点を目指す。スピーキングが苦手なので、授業内でも積極的に英語を使い、会話表現を増やす。ドイツ語は、帰国までにB1を目指す。単語力不足なので、授業内で分からない単語は逐一調べて単語帳を作り、ポキブラリーを広げる。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学が決まってから、英語は語学力を上げるために、友達と日常生活やSNSのチャットで英語を使って会話した。ドイツ語では、6月にドイツ語検定5級と4級をダブル受験して受かった。筆記はできたが、ドイツに来てみると、やはりスピーキング、リスニングができないので、ドイツ人の友達と話す機会を増やす。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

英語については、英語のクラスで一緒になった人と友達になり、英語で話す機会を増やす。

ドイツ語では、日常生活で使われる表現や、身近な物の単語を習得する。表現は、会話の中で使っていく。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	秋学期
月	Contemporary History of East Asia(12:00-14:00) DAF2_DeutschA2(14:00-18:00)
火	Institutions in Japanese Politics(12:00-15:00)
水	EN4_EnglischB1(10:00-14:00)
木	DAF2_DeutschA2(14:00-18:00)
金	
土	
日	

### 4.2. 授業について

- ① Contemporary History of East Asia (120 分/1 コマ)(1 コマ/週)  
英語による講義形式。主に東アジアの戦前～現代に至るまでの歴史を学ぶ。毎回課題図書が課され、次の授業までに読んで、課題図書を中心に授業展開される。IN-EAST の講義なので、ドイツ人は少ない。中国人、韓国人、日本人が多い。評価方法は中間レポートと最終レポートで評価。割合は中間レポートが 20%、最終レポートは 80%。テストは行われない。今週、初回の授業だったので、まだ分からないが、世界史・日本史の知識がある程度必要だと思われる。
- ②DAF2\_DeutschA2 (240 分/1 コマ)(2 コマ/週)  
ドイツ語の授業は習熟度別でクラスが編成されている。A2 レベルの授業が展開される。授業内の言語はドイツ語。私のクラスはグループワークが多い。グループで活動することが多いので、友達が増える。ドイツ人はもちろんいない。中国人、日本人、ロシア人がいる。先生はゆっくりドイツ語を話して下さるので、聞き取りやすい。きちんと分かったかどうか確認して下さる。評価方法は、小テストが 3 回と授業態度でそれぞれ 25%ずつ評価される。
- ③Institutions in Japanese Politics(180 分/1 コマ)(1 コマ/週)  
英語によるゼミ形式。現代の日本の政治について学ぶ。ドイツ人、日本人、中国人がいる。授業で毎回一人、Leader として、課題の Reading について Discussion や Debate を Leader 中心に行う。毎回宿題で課される英語で書かれた Reading を読んで、Response Paper(250-500 words)を提出。学期末に Final Paper Presentation を提出する。日本の政治に関する知識や英語の政治用語が必要。
- ④EN4\_EnglischB1(240 分/1 コマ)(1 コマ/週)  
英語の語学の授業。主に Grammer の授業。留学生が中心である。先生は、アメリカ人でかなり厳しいが、発音や文法の間違いを逐一指摘して下さる。評価方法は、普段の授業態度・宿題をきちんとやったか、学期末の試験の総合評価。

#### 4.3. 予習・復習・自習について

- ①の授業は毎回課題図書を読んで、内容を理解する必要がある。高校の時、日本史選択だったので、East Asia 諸国の歴史について自主的に勉強する必要があると感じた。
- ②の授業は教科書の問題を解く。復習はもちろんのこと、次回以降行う授業範囲の単語の確認や、文法事項も日本から持ってきたドイツ語の教科書も使って予習する。
- ③の授業は、要予習が必要。課題 Reading の範囲がかなり広いので、英語の単語チェックや内容理解をきちんと行わないと、授業についていけなくなる可能性が高い。
- ④の授業は、毎回宿題が出るので、必ずやらないと評価が下がる。また、授業でやったページの残りの部分を復習として活用する。次回の単語調べを予習として行う。

### 5. 生活について

#### 5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

ドイツは、冬で、一日中寒い。また、晴れの日が少なく、曇りや雨が多い。

寮内は無線 LAN が飛んでいるとバディから聞いていたが、実際は飛んでいなかった。寮内で引き継いでいる WI-FI を借りて、今は接続できている。現地で SIM を買ったが、私が使っている携帯が Android なので接続が上手くいかなかった。しかし、寮や大学に WI-FI があるので少し不便ではあるが、そこまで負担は感じていない。

初日から、トラブル続きで、1週間くらい不安なことばかりだった。ビザが私だけ取れない。自分の部屋のキッチンの排水溝、お風呂の排水溝が詰まる。詰まりすぎて、お風呂の床においてあるものが浮く。ルームメイトとの共同キッチンの冷蔵庫はルームメイトの物でいっぱい私の物が入れない。徐々に問題は解決されてきているが、まだ安心はできない。

#### 5.2. 課外活動について

休日は、Düsseldorf に行き、観光をした。Duisburg の駅の周りは栄えているので、ショッピングモールに行って買い物をした。学校始まる前は、隣町の Oberhausen の動物園に行った。日曜日になると、多くのお店が閉まるので、自分の部屋でゆっくりすることが多い。

#### 5.3. 現在までの感想

初日、WI-FI もシムも使えなかつたので、親と丸 1 日連絡が取れなかったことが結構精神的にきつく、ホームシックになってしまった。それから先程も述べたようにトラブルが続いたので正直帰りたと思った。しかし、周りの友達に支えられて、問題も徐々に解決し、精神も安定してきた。日本では実家暮らしだったので、初めての一人暮らしが外国というもあり、不安な部分もあったが、慣れてきた。

あとは、ビザがきちんと発給されれば、特にその他困っていることはない。

段々生活に慣れてきたので、勉強面にこれからは力を入れていきたい。半年という限られた期間の中で 2 言語習得できるよう、学んだことは全て自分の物にできるまで取り組んでいきたい。

現状の満足度としては、60 点。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (12月)

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	IN-EAST		
報告書提出日	2019年 12月 13日		

## 1. 目標について

### 1.1. 留学の目的、達成目標

英語とドイツ語の語学力を上げる。具体的には、英語は帰国までに TOEIC850 点を目指す。スピーキングが苦手なので、授業内でも積極的に英語を使い、会話表現を増やす。ドイツ語は、帰国までに B1 レベルを目指す。単語力不足なので、授業で分からない単語は逐一調べて単語帳を作り、ボキャブラリーを広げる。

### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

学習に関しては、英語は簡単な内容なので予習・復習必要ではなかった。ドイツ語は、授業内で出てくる単語が知らないものが多かったので、復習が必要だった。復習で手一杯でなかなか予習することができなかった。最近では、知っている単語が増えてきたので、予習にも力を入れる。

### 1.3. 今月の学習・研修目標

英語に関しては、タンデムパートナーと積極的に英語を使って話す。ドイツ語は、復習だけでなく予習にも力を入れる。また、文章をすぐに話せなくても、わかる単語や表現は授業中やタンデム中に使っていく。

## 2. 学修について

### 2.1. 授業について

#### ① Contemporary History of East Asia (120分/1コマ)(1コマ/週)

現在は、戦時中～戦後の東アジアの情勢について行っている。最近では教授の代わりに助手の先生が来て講義を行っている。理解度は東アジアの情勢に詳しくないというのもあり、低い。今月上旬にレポート課題があり、ポツダム会談における各国の動きについて 500words で書いた。

#### ② DAF2\_DeutschA2 (240分/1コマ)(2コマ/週)

現在は、職業でのシチュエーションで使われるドイツ語表現や、文法事項を行っている。それぞれ章が終わるごとにその章の範囲の動詞の小テストが行われる。最近では分かる単語が増えてきたので、教科書の書かれている内容や、先生の話している内容が分かるようになってきた。

### ③Institutions in Japanese Politics(180分/1コマ)(1コマ/週)

今は、戦後の日本政治の動向、小泉政権についてやっている。Masterの授業なので、かなり日本の政治の難しいところまでやっていて、難しいと感じる場面が多々ある。毎回授業の最後に「国会へ行こう」という映画を見て、映画のシーンを訳す。私は留学生用に別課題を出してもらった。

### ④EN4\_EnglischB1(240分/1コマ)(1コマ/週)

英語の授業は時制・助動詞など文法中心の授業。日本で既に扱った内容で簡単なので、理解度も高い。

## 2.2. 予習・復習・自習について

①の授業は、事前にシラバスを読んで、次回行う内容に関するものをネットで調べて、知識を入れてから授業に参加している。

②の授業は復習を中心に、授業でやったところの分からない単語にチェックして後から調べる。授業でやったが分からない文法事項はタンデムパートナーに聞いて解決するようにしている。

③の授業は、授業で行われる日本の政治について事前にネットで調べている。

④の授業は、宿題のみしている。わからない単語はその場で調べている。

## 2.3. 語学力について

現在5人とタンデムしていて、英語・ドイツ語・日本語で話している。英語に関しては、タンデムパートナーと日によって沢山話せている時と話せていない時があるので、語学力の向上は正直実感できていない。ドイツ語は最初全く話せなかったけど、今は単語が出てきたり、センテンスで話すことができるようになってきた。しかし、まだ単語不足である。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他：      ）
----	-----------------

12/10の夜から12/12まで寮内でWi-Fi繋いでいるのに、ネットが使えなかった。私の部屋でルームメイトと共有しているキッチンの電気コンロが故障し、数日間コンロが使えなくて、料理できず、不便だった。部屋の鍵が電池式で、その電池交換をししばらくしていなかったらしく、部屋に入れないうきがあり、とても困った。すぐにCaretakerのところに行ったら、電池をすぐに交換してくれた。

### 3.2. 課外活動について

休日は友達と11月下旬から開催されているクリスマスマーケットに行っている。Senester Ticketがあるので州内で開催されているクリスマスマーケットに行っている。

### 3.3. 現在までの感想

ビザがまだもらえていないので、不安だったが12/17にもらえそうなので、完全にではないが、安心した。今月は学習面というより、生活面でのトラブルが、結構困るときが多々あった。入寮してきた当初、ルームメイトが深夜までうるさくて11月上旬に静かにするよう言ったら、たまにうるさいが静かになったので良かった。勉強するために留学しているのに生活面でのトラブルが多く、ビザも全然もらえなかったりと本来の勉強が手につかない時もあり、困った。現状の満足度としては、65点。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	国際文化交流学科	2 年次
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	IN-EAST	履修言語	英語、ドイツ語	
留学期間	2019年10月～2020年2月			
報告書提出日	2020年3月13日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Winter Semester	10月21日 ～1月31日 (15週)	1月31日 ～3月31日	英語とドイツ語の語学の授業は、プレイスメントテストがあり、その結果後オンラインで登録。その他の授業は、オンラインで登録。授業開始最初の一週間はオリエンテーション期間として履修登録を変更することができる。

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Winter Semester	Contemporary History of East Asi	26時間	講義が月曜日に2時間、週1回。内容としては、東アジアの戦前～現代までの歴史や情勢について行われる。試験は無かったが、中間レポートが12月上旬、期末レポートが1月の下旬にあった。
		2(時間/回) × 1 (回/週) × 13 (週)	
Winter Semester	Deutsch A2	104時間	演習が週2回、4時間月曜日と木曜日にあった。文法事項を交えつつ様々なシチュエーションでのドイツ語の単語や表現を学ぶ。授業内で何回か動詞の変化形のテストがあった。また1月の下旬に期末試験があった。欠席が5回以上あるとテストを受けることができない。
		4(時間/回) × 2(回/週) × 13(週)	
Winter	Japanese	39時間	ゼミ形式の講義が週1回、火曜日に3時間。内容は、戦後高

Semester	Politics	3(時間/回) × 1(回/週) × 13(週)	度経済成長期～現在までの政治の変革について。政策の変化や政治の汚職事件などについても触れた。試験は無かったが、2月下旬までのレポートがあった。
Winter Semester	Englisch B1	52 時間	演習が水曜日に週 1 回、4 時間。文法事項が中心で、会話をするのはほとんどなかった。しかし、授業内で先生に当てられて会話をするのは、毎授業 2、3 回あった。試験が 1 月下旬にあった。
		4(時間/回) × 1(回/週) × 13(週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

学修をする上で心がけていたことは、疑問があればすぐに調べるように心がけた。特にドイツ語の授業では、分らない単語やフレーズなど沢山あった。分からないままにしておく授業についていけないので、すぐに電子辞書で調べたり、電子辞書でも分からなければ先生に聞いたりして解決した。予習復習の仕方については、英語の語学の授業では、他の授業よりもレベルが簡単だったので、文法を予習で確認したりした。ドイツ語の授業では、授業についていくために毎回の授業で予習復習をした。事前に単語を調べ、触れそうな演習問題を事前に解いた。英語で開講される科目の授業は、語学力以外にも歴史や政治について知って置かなければならなかったもので、毎回の授業テーマについて事前にインターネットで調べるようにしていた。

### 1.4. 語学力について

留学中の取り組みは、語学力向上のためにタンデムに力を入れた。日本語学科のドイツ人タンデムパートナー5人とそれぞれ週 1 回 2 時間、英語、ドイツ語、日本語でタンデムをした。タンデムでは、お互いのこと、日々の生活、ドイツと日本のことなど多岐に渡って話した。また、お互い授業で分からなかった内容を質問し、それぞれの宿題を確認しあった。

留学前や留学当初に比べて、当初はタンデムでもほとんど英語で会話していたが、次第にドイツ語でも話すことができるようになってきた。英語の語学力向上ははっきりと実感はしていないが、以前より流暢に話せるようになったと感じる。ドイツ語は向上したことをはっきりと実感できる。特にボキャブラリーを増やすことができた。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

学修内容としては大きく分けて、英語、ドイツ語の語学力向上と英語で日本を含めた東アジアの歴史、政治について学んだ。英語は文法事項について、ドイツ語は文法、語彙、会話を中心に行った。取り組みから得た成果としては、英語は文法の苦手意識がなくなり、ドイツ語は特に語彙が増えたと感じる。東アジアの歴史の授業では、時代ごとにそれぞれの国の関係性が分かった。日本の政治の授業は、今までの政治改革の内容が分かり、英語の政治用語の語彙が増えた。



## 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

学修面での反省点は、タンデムの最初のうちからもっとドイツ語を使えばよかったと思う。最初は間違えるのが怖くてあまりドイツ語を積極的に使えなかった。間違えてもいいから使おうと意識すれば、もっとドイツ語の語学力が向上したかもしれないと感じている。ドイツは英語話しても通じるので英語だけ話しても困らないが、ドイツ語の向上を目指すなら、積極的にドイツ語を使う意識を持ったほうが良い。また、英語に関しては、ドイツは人にもよるが、イギリス英語が話されていたり、表記されていたりするので、イギリス英語をある程度知っておいたほうが良い。

## 2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活で得られたことは、日本を客観的に見ることができた。例えば、サービスや商品の質は日本の方が改めて良いと感じることができた。しかし、エコに対してとても協力的であるのはドイツであり、日本はまだ劣っている。このように日本を客観視することができ、今まではっきりと決めていなかった就職活動するときの業界を絞ることができた。

今まで日本では実家で暮らしていたので、今回ドイツで初めての一人暮らしだったが、家事やお金の管理など自己管理能力が高まったと思う。お金の管理においては、毎日家計簿をつけてお金を管理することができた。

## 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学当初、安いシャンプーやリンスを買ったが、ドイツのシャワーは硬水なので髪が傷んだ。シャンプーやリンスなど日用品は安さより質で選んだほうが良い。

生活面のアドバイスとしては、毎日家計簿をつけてどれくらいお金を使っているのか目に見える形にしたほうが良いと考える。ドイツはエコの取り組みを積極的に行っているため、ビニール袋が有料である。エコバックは常に持っておいたほうが良い。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年3月13日

所 属	外国語学部	国際文化交流学科	2 年次
派遣先大学	デュースブルク・エッセン大学		5 ヶ月間

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	住居形態の詳細を教えてください。	自分個人の部屋が1つあり、ルームメイト1人とキッチン、お風呂トイレを共同で使っていた。
3	入居時手続き	(事前にバディが私の部屋の鍵をハウスマイスターの事務所まで取りに行ってくれており、私が入寮するときは、バディが私に鍵を渡してくれた。)
4	費用 (月額)	355 (€) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	月ごとに銀行の口座から引き落とし
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ( )
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ( )
8	周囲環境	駅から 10~15 分、寮の近くの通りに商店街があり、日用品や日本の100円ショップがある。歩いて15分圏内にスーパーが3軒ある。
9	アクセス	大学からは歩いて15分、バスは頻りに駅、大学行きが出ているが、歩いていける距離にあるので必要ない。Semesterticketがあるので費用はかからない。
10	留学中の住居に関して アドバイス	寮にはWi-Fiルーターがないので、買うか引継ぎのものを受け取る必要がある。

### II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	購入しなかった
3	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
4	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

### III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	355 (€) /月
2	食費	150 (€) /月
3	交通費	100 (€) /月
4	通信費	(通貨入力) /月

5	娯楽費	200 (€) /月
6	図書費	(通貨入力) /合計
7	学用品 (教科書など)	20 (€) /合計
8	被服費	50 (€) /合計
9	医療費	(通貨入力) /合計
10	雑費・その他	50 (€) /合計
<b>上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)</b>		
11	出願料・宿舍デポジット	600 (€) /合計
12	ビザ申請関連費	(通貨入力) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	20 万 (円) /往復
14	その他	(通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	60 万 (円) /合計
<b>お金の持って行き方</b>		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時 : 40 万円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名 : ) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
17	現地で銀行口座開設	した
18	手続き方法・利点・欠点	Sparkasse で銀行の口座開設した。事前に予約を取り、パディと一緒に口座開設の手続きをした。Online Banking ができたので、アプリ上で残高確認や大学への送金が可能で便利だった。欠点は ATM で引き出しはできるが、入金ができないことである。入金するには人がいる受付で行わなければならない。人がいる受付も営業時間が短いので困った。
19	お金に関するアドバイス	私は国際キャッシュカードを作らずに、日本で現金 40 万円分のユーロをそのまま持って行ったが、セキュリティ上危ないので、国際キャッシュカードを作って持って行ったほうが良い。三菱 UFJ で作れるらしいです。

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	C19 (5 か月分で 61100 円)
2	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか? 理由はなんですか?	常備薬 ドイツの薬は効き目が強いので、普段から使っている薬の方が良いと思う。

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	服、コート、日本食、衛生用品、カイロ、タオル
2	現地で購入したもの
	服、上着
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの

#### VI. 留学先で困ったこと

私の携帯電話は Android で現地の SIM カードが入らなかった。寮や大学には Wi-Fi があるのでそんなに困らなかったが、緊急で必要な場合だったり、友達から緊急の電話に出ることができなかったり、不便な時もあった。

## VII. その他、後続の学生へのアドバイス

普段自分が使い慣れているものは予備も含めて持って行ったほうがいいと思う。